

令和8年3月1日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立岩成台西小学校

校長 佐々木 利江子

事業テーマ	自他を大切にする児童の育成 ～「ひと」とのかかわりを通して～	
取組の目的	本校の児童は明るく元気で、まじめに学校生活を送る児童が多い。一方で、友達との関係で傷ついたり、悩んだりする場面が多く見られる。他者とのかかわり方に戸惑い、不安をもつ児童が少なくない。そのため、学校全体でソーシャルスキルトレーニング（以下SST）に取り組むことで、自己肯定感を高めてきた。 このSSTの取り組みの成果を基に、他者と自信をもってかかわることができるように重点を置く。さらに、「ひと」とかかわる機会を増やすことで、自分とともに他者を大切にするのできる児童の育成を図る。	
区分 (○印を付ける)	新規事業・ <u>継続事業</u> （総事業年数3年間2年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容	昨年度の課題として「ひと」とのかかわりを重視した活動をもとに、子どもたちが自信をもって活動することができるような授業づくりに、学校全体として取り組むことを挙げた。 今年度は、研究授業・授業公開を全学年で行った。その中で、タブレットPCの活用やアプリの使用などを取り入れた授業を実施することで、実際の活用方法や使用方法について学ぶ機会となった。タブレットPCやアプリを取り入れることによって「ひと」とのかかわりを重視することに、教職員全体で今後も努めていく。	
事業名	事業内容	実施時期
○「ひと」とのかかわりを重視した授業・活動	○ 岩西スマイルタイム ○ 県外研修参加 ○ あすチャレスクール（障がい者スポーツの体験） ○ 書の共同作品作り	通年 9月 10月 12月・2月
○ 岩西スマイルタイム		
		

○ あすチャレスクール (障がい者スポーツの体験)



○ 書の共同作品作り
< 6年 大切な言葉の寄せ書きをつくろう >



< 5年 大きな筆で大きな字を書こう >



取組の成果

本校は、児童と児童、児童と教師、児童と地域があたたかい関係である。その礎はSSTの
であり、あすチャレスクールや書の共同作品作りなど「ひと」とのかかわりを重視した多くの
授業・活動の取り組みの成果であると考えられる。この成果を基にして、今後も『自他を大切
にする児童の育成』をめざしていく。

課題

今年度は「創意と活力」のある学校づくり推進事業の予算を活用したうえで、県外への研修
に参加することができた。その研修での学びを、教員全体へ報告することで、一人の教員の研
修の参加が本校職員にとって大変、有意義なものとなった。ただ、報告の仕方については、改
善の余地があるので、次年度以降の課題とする。

「ひと」とのかかわりを重視した活動をもとに子どもたちが自信をもって活動することがで
きるような授業づくりについても、引き続き課題として次年度以降も学校全体で実践に努める。